

病院だより No.10

Fun Socks Day (ゆかいソックスデー) 創設します！

病院では、レクリエーションが医療として提供されることがあります。映画鑑賞や遠足というわけにはいかないのですが、スタッフが付き添ってがん患者さんと屋外に出て桜を見たり、笑いを取り入れるために落語会を開催するなどです。語源はre-creation(再び創造する)ですから、リフレッシュして人間らしい生活をひととき取り戻すことが、長い入院生活で求められてくることはご理解いただけるのではないかと思います。

もう一つの側面として、楽しみを持つたり人との交流を持つことには、認知症の予防になる点が挙げられます。これは医学的にも立証されていますので、リハビリテーションではパズルやトランプ、かるた取りなども脳梗塞後の機能回復や認知症予防のため(費用を頂戴しながら)実施しています。

さて、表題のとおり、町立病院ではその一環として2017年12月から新たな取り組みとして、「Fun Socks Day(ゆかいソックスデー)」を偶数月の22日(ふふッ!)に創設いたします。

「Fun Socks Day(ゆかいソックスデー)」とは、普段はちよっと気恥ずかしくて履けないようなカラフルなものや、左右異なる靴下を履いて一日を過ごすもので、米国では一般的な学校行事の一つとして教育に取り入れられているものです。

元来、多様な人がいることを受け容れる精神や、自分の個性を表現したり醸成することの大切さを楽しみながら学ぶもので、「クレイジーソックスデー(crazy socks day)」と呼ばれています。教師や送り迎えの保護者も一緒に参加して、楽しい一日を過ごします。

てしお版では日本語の「クレイジー」が持つ「馬鹿げた、愚かな」のニュアンスがしっくりしないため、「Fun Socks Day」と名付け、「楽しい靴下の日」や「ゆかいな靴下の日」の本来の趣旨に近いネーミングとしました。2017年10月現在、ネット検索では、本邦での行事を行っているのはごく一部のインターナショナルスクールのみですので、公的機関としてはおそらく国内初の取り組みです!! 入院患者様には、靴下に限らずお化粧をしたり、平服で過ごすといったいたり、髪型を変え

たり、普段とは違う一日を過ごしていただく予定です。この日は、病床にある皆さんに少しでも楽しんで過ごしてもらいために、職員も足元のみですが工夫を凝らして過ごしますので、町民の皆様方におかれましては何卒ご理解、ご容赦の程お願い申し上げます。当日病院に何も知らずにお越しになられた方には少し驚かせてしまっかもしれませんが、立て看板等で案内をさせていただく一方で、定期通院されている方々に

は、事前に案内いたしますので、ぜひ一緒にご参加下さい。少しでも「どんな靴下にしようかな?」と考えをめぐらせたリ、ひとときの楽しみになつたり、会話が生まれることが大切

(文責 医師 橋本伸之)

町民の皆さんへお知らせ

このたび、町立病院は医師一名体制となりましたが、これまでどおり日頃からの健康管理をお手伝いし、重篤な事態を招かぬよう、また本当に具合が悪い方は病院に足を運ぶことすらできないという認識に立って、訪問診療も継続していきます。継続的なりハビリが行なえる体制づくりも町立病院レベルでは道内初となりそうですが、来年度に向けて鋭意整備中です。数字として現れる面のみならず、たとえば検査の結果が思わしくなかった日でも、やっぱり「今日病院にかかっておいてよかった」と言ってもらえるような、受診される皆さんの内面にきちんと配慮しケアできる病院にしたいです。町民の皆さんの率直なご意見ご要望を、病院や役場へ引き続きお聞かせ下さいませようようお願い申し上げます。



【問い合わせ先】天塩町立国民健康保険病院 ☎(2) 1058